

唐津西高校

活動実績 No. (23)

| | |
|-------|--|
| 活動名 | SAGA2024カウントダウンフェスティバル in 唐津 |
| 実施日 | 令和5年10月 1日(日) |
| 活動の記録 | <p>1. 活動の目的</p> <p>来年度のSAGA2024にむけた唐津地区プレ大会のオープニングイベント演奏として、SAGA2024唐津市実行委員会から依頼を受けた。</p> <p>2. 内容</p> <p>コンサートマーチ「アルセナール」と、大会イメージソング「Batons～キミの夢が叶う時～」、それから「銀河鉄道999」のテーマソングを演奏した。「Batons～キミの夢が叶う時～」は、スポーツを通して、「する人」「観る人」「支える人」、様々な立場の人が関わり、みんながバトンを渡し合っていくという思いが込められた歌である。吹奏楽バージョンでは、歌のパート、つまり主旋律をいろいろな楽器が入れ替わって担当し、バトンを繋ぐように演奏する編曲になっている。本校の吹奏楽部は部員が10名、ほとんどのパートが1名ずつなので、それぞれ担当する主旋律はほぼソロ状態であったが、会場の皆さんに手拍子をしていただきながらなんとか無事演奏することができた。</p> <p>会場には、来賓の方々や、バドミントンのクラブチームの子どもたちや本校を含む高校のバドミントン部員がたくさん来ていて、演奏を楽しんでもらえてよかった。</p> <p>3. 今後の予定</p> <p>来年度のSAGA2024は県内各地で開催される予定で、県内の高校にも協力要請が来ている。来年度も演奏や、また違った形での応援をしていきたい。</p> |

唐津市文化体育館で演奏する吹奏楽部

活動実績 No. (24)

| | |
|-------|---|
| 活動名 | 第3回学校運営協議会<地域協働部会>と1年生総合的な探究の時間「地域の魅力」学年発表会 |
| 実施日 | 令和5年10月24日(火) |
| 活動の記録 | <p>1. 活動の目的</p> <p>1年生の総合的な探究の時間で行ってきた「地域の魅力」に関する学年発表会を、学校運営協議会・地域協働部会の委員の方に参観、評価していただく。そのことで、生徒の探究活動での取組内容を知っていただくとともに、評価のフィードバックを生徒・職員全体で共有し、今後の探究活動に活かす。</p> <p>2. 内容</p> <p>1年生の総合的な探究の時間で行ってきた「地域の魅力」をテーマに、クラス発表会(10月17日)を行い、その発表会を受けて7名の代表生徒を選出した。本日の学年発表会では、その7名が発表を行い、それぞれの発表後に質疑応答を取り入れた。生徒や学校運営協議会の委員の方からも質問をいただき、発表した生徒も調べたことや自分の考えを答えていた。</p> <p>3. 今後の予定</p> <p>今後は、「地域の魅力」をよりよいものにしていくためにはどうすればいいのか、どのような課題を解決していけばいいのかをテーマに、その課題の解決について取り組んでいく予定である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>↑ 発表会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>↑ 発表会をうけて学校運営協議会委員の方による講評</p> </div> </div> |

活動実績 No. (25)

| | |
|-------|--|
| 活動名 | 1年生の総合的な探究の時間 |
| 実施日 | 令和5年10月31日(火) |
| 活動の記録 | <p>1. 活動の目的</p> <p>1年生の総合的な探究の時間において、今後の探究活動を進めて行く上で必要となる情報の収集や分析の方法についての理解を深め、探究的な学習を効果的に進めて行くための資質能力を向上させるため。</p> <p>2. 活動内容</p> <p>長崎県立長崎東高等学校の榎本英人先生に、「総探における情報の収集・分析について」という演題で講話をしていただいた。</p> <p>講話では、先生がこれまでに関わってきた総合的な探究の時間で取り組んできた「海洋ゴミ削減」「地元食材でピザづくり」「バッタを餌で養殖」等いくつかの事例について、生徒たちの行動力が素晴らしかったと紹介された。</p> <p>最後に、「2軸」、「フィッシュボーン」、「マンドラチャート」の3種類のフレームワークを紹介され、生徒たちは3,4名のグループを作り、「唐津市に若者を呼び込む」「唐津市の観光を活性化する」という2つのテーマについて実際にフレームワークを使う5分程度のワークを行った。</p> <p>ワーク後の振り返りで、「難しかった」と感想を述べた生徒に対して、先生から「軸の設定を変えたら考えやすくなるかもしれない。」というアドバイスをいただいた。</p> <p>3. 今後の予定</p> <p>今後は、これまでの探究活動を通して見出した課題をもとにテーマを設定し、課題解決をするための仮説や方法について探究活動をする予定である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>①講話の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>②ワークの様子</p> </div> </div> |